

北海道

環境宣言

—エコアイランド北海道をめざして—



一本の木が 豊かな森になるように、 一人の行動が北海道の未来を育みます

いま、みなさんの周りには、どんな緑があるでしょうか？

私たちの暮らす北海道は、日本全体の森林面積の4分の1を占める緑の王国。一人あたりにすると、1ヘクタールもの森をもっていることになります。しかし、この私たちの自然の森にもまさしく「地球高温化」の危機がせまっており、この原因となっている二酸化炭素の北海道での排出量は年々増加傾向にあり、一人あたりでは全国平均の1.3倍にもなっています。私たちは、この豊かな自然を大切に、未来の子どもたちに胸をはって緑の大地を引き継いでいかなければなりません。

2008年7月、人類にとって新たな未来の扉が開かれる、「北海道洞爺湖サミット」が開催されます。この記念すべき年を環境行動元年として、私たち道民一人ひとりができることをあらためて考え、家庭や職場そして地域で、行動に移していくことを北海道で暮らすみんなの決意として「環境宣言」に記したいと思います。みどりの森林づくりに参加することも、身近なごみをひとつ拾うことも、バイオマスや風力など環境にやさしいエネルギーに目を向けることも、すべて、未来の子どもたちにつながっているからです。

一人ひとりができることは小さいと思われるかもしれませんが、決してそんなことはありません。この北海道は豊かな自然とエネルギー資源に恵まれ、世界における環境保全の地域モデルになりうる素晴らしい大地です。最初は小さな一歩でも、着実にまっすぐとその歩みを止めないこと。その未来には、環境と調和する「エコアイランド北海道」が見えてくるはずです。この環境宣言のもと、道民の思いをひとつにし、世界に、未来に、私たちの決意と行動を発信していきましょう。

2008年4月21日

北海道知事 高橋 はるみ

